



きこやまべ

2024年1月1日現在	
世帯数	: 5,487戸
男	: 5,757人
女	: 6,150人
計	: 11,907人

甲辰年の年頭にあたつて 地域コミュニティの復活

里山辺地区の皆様、新年明けましておめでとうございませう。甲辰年を希望に燃えて迎えたことと思います。

今年の甲辰年は、いったいどんな年なのでしょう。甲は十干の最初であり、命や物事の始まりを意味します。辰が、一たび吠えようと雨雲が起り、大雨を降らせる強い象徴とされています。甲辰は、「たつぷりと養分を蓄えた固い種子が芽を吹く時。これまでコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木の様にすうと伸びて、努力が花を咲かせる」縁起の良い年だと言われています。

昨年まで耐えてきたコロナ禍から一変し、地区のお祭りや行事が四年ぶりという時を経て盛大に行われました。開催するまで準備のために何度も打ち合わせを行いました。当日は、どれだけの人々が集まるのかという不安を抱えての幕

お船祭り



夏祭り

里山辺公民館長 小幡 泰俊

～祝 二十歳 限りない未来に羽ばたけ～ 松本市ハタチの記念式典盛大に行われる

1月7日(日)、令和6年松本市ハタチの記念式典がキッセイ文化ホールで盛大に行われました。今年の対象者は2236名で、里山辺地区では90名が二十歳となり、新たな門出をいたしました。新成人の皆さん誠におめでとうございます。



「夢に向かって資金を貯めて東京で頑張る!」などのコメントもいただきました!



わが町紹介

下金井町内 公民館事業について

町内公民館活動に於いて、今年度注視したのは健康づくり事業の推進であり、他の事業も実施しました。コロナも停滞して、地区や町内のスポーツ事業などの各事業が再活動するにあたり、円滑に進められるか不安を持ちながら、公民館役員を中心に各サークル団体、各種団体代表と運営を共

にしました。町内三大事業である六月開催の町内スポーツ大会では、町内公民館初の目的地を巡るウォーキングを実施。八月開催の夏祭り「ふれあい広場・下金井」は町内皆様、老若男女の親睦を深め合う催しとなり、十月開催の町内文化祭では、町内の皆様が絵画や菊等を出品し、そば打ち同好会による振舞そばには、多くの方に美味しく堪能して頂きました。町内公民館事業に於いて、様々な課題を来年度に向けて、公民館



役員と協議して改善しながら今後も町内の皆様が、数多く参加できるようにして行きたいと思っています。
下金井公民館長 白木 基善

人権啓発推進協議会視察研修会 〜日本の殖産興業と女工哀史・富岡製糸場〜

里山辺地区人権啓発推進協議会では、毎年視察研修会を実施しています。今年は日本の近代化と、殖産興業の一翼を担った群馬県の「富岡製糸場」を視察しました。富岡製糸場は、世界文化遺産に登録され、日本の生糸産業やそれを支えた女工の労働環境を学ぶには、またとない施設です。ただ、富岡製糸場は官営の製糸工場であるため、民間の製糸工場とは給料や労働環境が全く違うので、その違いを知ることが、民間工場の女工の苦難「ああ、野麦峠」に代表する女工哀史を学ぶのに良いと考え、富岡製糸場を視察地を選びました。

12月11日、前日の好天とは打って変わり、厚い雲の広がる寒い日でしたが、県境を過ぎる頃から青空も広がり、車窓からは水墨画を思わせる、妙義の岩山が飛び込んで来て、その迫力に目が釘付けとなります。やがて富岡市に入ると、静かなたたずまいの街中に世界文化遺産「富岡製糸場」があります。赤レンガで積み重ねられ、和洋折衷の東置繭所が南北に広がり、その大きさを物語っています。広大な敷地には、当時の最新の洋館建築が残され、文明開化の時代にタイムスリップした様な錯覚に陥りました。繰糸所に入るとたくさんの紡織機が並んでいます。これだけの機械があっても、女工が関わるのはそれほど多くないことだと思えました。また、工場内は診療所や機械化との違いに驚きました。また、工場内は診療所やまかない所、学校まで完備されており、官営工場でなければ出来ないことだと思えました。全



国から士族の娘四百名が集められ、その女工の中心の役割を果たした人物に、信州松代藩士の娘、和田英がいたことを聞き驚きました。英が記した「富岡日記」は当時の女工の生活を知る貴重な資料となっています。視察が終わり、当時の女工たちの働く姿に思いをはせながら、富岡製糸場を後にしました。

町内公民館長会・里山辺公民館合同研修会

〜野麦街道と飛騨街道が育んだ小京都高山の歴史と文化〜

11月24日(金)に町内公民館長会の研修を行いました。二年前に計画しましたが、コロナ禍のため実施できず、三年ぶりの高山研修となりました。この日は途中の平湯に雪が残り、寒い日でした。まず、高山陣屋を見学しました。幕府の天領を統括する代官屋敷というところで、広大な屋敷には数多くの部屋があり、格式の高さが伺えます。高山陣屋を出て、伝統的建造物保存地区の街並みと、宮川朝市を見学しましたが、外国人観光客であふれかえっていました。

高山と言えば「高山祭」が有名で、祭りは春と秋の二回行い、日本三大美祭と言われ、美の粋を集めた祭り屋台があります。それを展示してある「高山祭りの森」では豪華けんらん高山祭りのほんの一部を垣間見た思いでした。信州へ鮒と生糸産業を支えた女工が通った飛騨高山を堪能した一日でした。



冬の寄せ植え講座

11月20日(月)に行い、綺麗に咲くか冬の楽しみが増えました。



里山辺地区餅つき大会

12月16日(土)に公民館で行い、100名程の住民が参加しました。



親子しめ縄教室

12月23日(土)に山辺児童センターで行い、講師の先生に教わりながら正月飾りを作りました。



4年振りの開催!

里山辺地区卓球・ゲートボール大会

11月19日(日)に、卓球ゲートボール大会を開催しました。

【大会結果】

- ◆卓球 優勝：南北小松 準優勝：上金井
- ◆ゲートボール 優勝：下金井A 準優勝：林B

- 3位：薄町
- 4位：新井



文化財めぐりマップの看板設置!

公民館駐車場東側に設置されました。里山辺地区の文化財をめぐれるウォーキングマップです。

写真を撮って歩いてみよう!

